

氏名 仲条幸一	
所属と職位	つくば国際短期大学 保育科 講師
主な資格と学位	【資格】 小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状「音楽」、 高等学校教諭専修免許状「音楽」、Apple Distinguished Educator 【学位】 博士「教育学」
プロフィール	【学歴】 筑波大学 人間総合科学学術院 博士後期課程 修了 【職歴】 東京都内小中学校における音楽専科(代替教員)を経て、 現在、つくば国際短期大学附属幼稚園の非常勤音楽講師および 和光大学現代人間学部の非常勤講師を兼任
研究分野 研究テーマ	音楽教育学・教育方法学 サウンドエデュケーション、ICT 活用、音楽づくり、即興演奏、作曲・編曲
主な所属学会	日本音楽教育学会、日本保育学会、日本教育方法学会、 全国音楽教育学会、日本乳幼児教育学会
主な担当科目	幼児音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、身体的表現指導法、音楽表現実践演習Ⅰ・Ⅱ
主な著書・論文	【著書】 日本教育方法学会編(2024)『教育方法学辞典』(仲条幸一「ワークショップ」p.146)学文社. 島田由紀子・駒久美子編(2024)『子どもの表現 応答性豊かな保育者になるために』(仲条幸一「第6章第1節 環境の音-サウンドスケープとサウンド・エデュケーション」pp.58-61、「第8章第1節 環境の音と ICT-環境の音をサンプリングする」pp.76-81、光生館. 石井玲子編(2020)『表現者を育てるための保育内容「音楽表現」』(仲条幸一「第9章第1節 さまざまな楽器を知る」pp.97-98)教育情報出版. 【論文】 仲条幸一(2025)「DAW の機能を活用した幼児の音楽づくりに関する活動の構想と実践」筑波大学人間総合科学学術院教育学学位プログラム博士論文, 全 200 頁. 仲条幸一(2025)「幼児によるサウンドスケープの記録と共有 — 音の作品化を実現するアプリケーションの開発と実践分析 —」日本教育方法学会『教育方法学研究』第 50 巻, pp.169-182. 仲条幸一・板橋華子・岡部玲子・山口瑞穂・山本紀乃(2023)「保育学生による「子ども番組」の制作 — TPACK を枠組みとした ICT 活用の well-being 的意義」日本音楽教育学会『音楽教育実践ジャーナル』第 21 巻, pp.65-74.(筆頭著者) 仲条幸一(2023)「MIDI を活用した幼児の音楽表現の記録と分析— 幼児の姿を読み取る保育者との対話に着目して —」日本教育方法学会『教育方法学研究』第 48 巻, pp.25-35. 仲条幸一(2023)「プログラミング概念を含む音楽アプリケーションの教育的価値—Resnick のティンカリングに基づく実践と分析—」つくば国際短期大学紀要第 49 輯, pp.35-48. 仲条幸一(2023)「保育の領域「表現」に「聴く」が与える示唆 ～R. マリー・シェーファーの「サウンドスケープ」を手がかりに」教育方法研究会『教育方法学研究』19, pp.139-151. 仲条幸一(2022)「幼児の「身の回りの音をループする音楽づくり」による聴く姿の変容—ループマシンを活用した5歳児の協同的な音楽表現—」日本音楽教育学会『音楽教育学』第 52 巻第 1 号, pp.13-24. 【研究助成】 2022 年 第 40 回公益財団法人カシオ科学振興財団による研究助成採択 2020 年 科研費若手研究採択(課題番号 20K13944) 2019 年 発達科学研究教育センター「発達科学研究教育奨励賞」受賞
主な社会活動	2016 年から茨城県土浦市の各地区公民館講座を担当